社会福祉法人　ボワ・すみれ福祉会

輝いて明日へ

２０２４．１．１９

法人理念

誰にも優しい
地域社会をつくります

新年あけましておめでとうございます

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会
理事長　田部井 眞

２０２４年令和６年はどのような１年になるのでしょうか。

４月に改定される報酬は、１．１２％のプラス改定が決定しました。賃金に上乗せできる処遇改善加算も約６，０００円近く増額される見込みです。物価高騰には追い付かないですが喜ばしいことです。

就労人口の減少など職員採用に苦戦していますが、ただ嘆いていても解決には至りません。多様な働き方を考え、福祉の仕事に関心のある方、挑戦してみたい方を受け入れていける労働環境を取り入れていきたいと思います。

例えば、支援業務を本来業務と周辺業務に分けて、周辺業務はアルバイトの学生や７０歳以上の方などに受け持っていただく。運転業務のみだけではなく、運転業務と周辺業務を組み合わせて、労働時間を確保し働きやすい業務内容を組み立てるなど、働く側に寄り添って業務を再構築することも重要と思います。

支援職が支援業務に集中できる環境の見直しにもなるのではないかと思います。安心安全を確保し、より質の高い支援を行い豊かな時間を提供しご利用者が充実した生活を送れるように努力する１年を目指していきます。

また、社会福祉法人が地域における福祉サービスの中心的役割を果たすことが強く求められています。持ち得る社会資源を活用し地域福祉の向上にも役割を果たさなければなりません。

本年も昨年同様にご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

法人本部　統括部長　成澤　勲

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、私が本部に異動して、一年が過ぎました。はじめは分からない事だらけでしたが、本部の職員と協力しながら、チームワークで乗り切りました。今年度新たな職員が加わり、現在は非常にスムーズに業務を行うことが出来ていると実感しています。

「本部職員のサービスの対象者は職員」と理事長に常に教えられています。職員が安心して働けるように給与や労務管理等々正確に処理をしていきます。そうすることで職員は安心して仕事に集中でき、最終的にはご利用者に還元されると考えています。

現在、法人には大きな課題があります。新たな事業へ挑戦するための資金作り、４月にある報酬改定、職員の働きやすい職場づくり、物価高騰対策、生産労働人口減少の中での職員雇用、地域福祉の維持・推進のための対策等々です。すぐには解決できない課題ですが、経営者もしっかりと対策を考え、対策に関する説明責任を果たし、現場の意見等も聞き、ご利用者、地域、職員、法人、未来が良い状況にあるように五方よしのマネジメントができる様にしていきたいと思います。その為には、少なくとも法人職員が一致団結し、お互いの立ち位置や業務を理解し、協力していく姿勢を示していかなければならないと思います。

法人の統括部長になり、今まではなかなか関わることができなかった施設にも足を運び、現場の職員と一緒にご利用者支援をする機会が度々ありました。職員たちは皆ご利用者のために日々の業務にあたっています。つい先日、研修を受けた際に「ご利用者のために」ではなく、「ご利用者の立場に立って」支援を展開することが大切であり、いかに「当事者意識」を持つことができるかという内容の講義がありました。今後は「ご利用者のために」を一つ突き抜けた「ご利用者の立場に立った、当事者意識を持った」支援の展開を各事業所で行っていくことで、更にご利用者が安心、安全、楽しく施設利用ができ、職員もやりがいをもって業務にあたることができるのではないでしょうか。各事業所で、テーマの一つとして議論して実践していければと思います。

最後になりますが、今年も職員一同業務に邁進していきますのでご理解ご協力をお願いいたします。

法人本部

２０２３年度　法人表彰式を行いました

２０２３年度　ボワ・すみれ福祉会法人表彰式が１１月１６日に行われました。
２０２０年度以降コロナ感染症予防のため一堂に会しての表彰式は行わず、各事業所にて通所１０年、２０年のご利用者、勤続１０年、２０年の職員の表彰式を行いました。少し規模は小さくなりますが、事業所の皆に祝福され、あたたかい表彰式となりました。お一人おひとりの今後のご活躍を心から願い、期待しています。

また、法人から「社会貢献表彰」として、東京家政学院大学　現代生活学部児童学科　柳瀬洋美准教授を表彰させていただきました。

２０１３年から現在に至るまで１０年間、児童支援部全体の職員研修や児童のケースカンファレンスをお願いし、支援の視点や手立てについてアドバイスをいただくと同時に、職員の知識や専門性の向上にご尽力いただいています。児童の様子だけでなく、事業所の状況や職員の気持ちにも合わせた、あたたかいご指導で児童支援部の発展に大きく貢献していただきました。 また、同時に「社会貢献」の表彰をさせていただいた、匿名でご寄付をくださった方にはこの場をお借りし、深く感謝申し上げます。　　(角井　まな)

生活介護　花の家

新年のご挨拶～２０２３年度を振り返って

あけまして、おめでとうございます。

昨年を振り返りますと、４月に行った人事異動に起因して、大小様々な出来事が生じた一年でした。担当職員が変わったことでご利用者への支援でも行き届かなかった点も多くありました。

そのようなことから、改めて花の家の現状と課題を見つめ直そうと、保護者や職員からアンケートを取ったり、法人監事や苦情解決第三者委員等の外部の方に現場を視察していただき、ご助言をもらう機会を設けました。その他にも保護者による見学会や研修等いろいろやって辿り着いた答え、昨年の私たちに不足していたのは、対保護者、職員間の丁寧な「コミュニケーション」でした。

あまりに当たり前すぎて気が抜けてしまいそうですが、コミュニケーションといっても日常的に行われるそれではなく、何かの出来事に遭遇した際、職員の心の中に「これで良いのかな」という小さな疑念が湧いた時や「ちょっと言いにくい」等の気持ちがよぎる時のコミュニケーションのことです。

その「言いにくさ」「伝えにくさ」を個人の倫理観に負わせるだけでなく、職場全体、職員全員でそれを当たり前にすることが大切なのだと思いました。

これらの取り組みを踏まえ、２年毎に策定している人権擁護スローガンを「全ての土台は『笑顔』から～明るく挨拶、コミュニケーション」（※若い職員の提案）とし、花の家全体のスローガンも「はたらく・なかまと・のりこえて・いい・えがお」を継続することとして、今年度を明るく過ごしたいと思います。

皆様方には、引き続きのご支援を宜しくお願いいたします。　　（畠山　史郎）

「永年通所30年、永年勤続10年　おめでとうございます」

今年は暖冬となり、過ごしやすい気候となった 11 月 16 日（木）、花の家のホールにて 2023 年度の表彰式が行われました。

ご利用者の表彰は「花の家」では永年通所 30 年の方が 2 名と、人数的には少し寂しくなりましたが、お二人ともとても素敵な表情で参加され、人数以上の盛り上がりを見せていました。また、保護者の方からは花の家と通所されているご利用者全体への感謝の言葉を頂き、会場全体が暖かな雰囲気に包まれるとともに、職員一同、今以上に気を引き締めて、さらに良い支援を行うと改めて心に誓いました。

職員は永年勤続 10 年の表彰者が 6 名おり、今後、より一層、活躍の期待を感じさせました。 感染症の影響が和らぎ、盛大な表彰式が開催できたことを嬉しく思います。　（齋藤　雅信）

「みんなの笑顔展覧会に出展しました」

12 月4日～12 月 8 日までの 5 日間、町田市役所 1 階「みんなの広場」にて『みんなの笑顔展覧会』が開催されました。

花の家からは 2 名がそれぞれ作成した「陶器の花瓶」と「花の家ポスター」を出展し、展示してある町田市役所までグループのみんなで見に行きました。

「花の家ポスター」の作品は広場正面に素敵に飾られてあり、ご本人も満足しているように見えたのですが「もっと時間があればもっと良い物が出来たのに、、、。」と。出展後もパソコンの操作を学習しながら制作に取り組み、今持っている力を最大に活かして納得のいくポスターを仕上げると、心から満足しているようでした。

又来年の展示会にも、みなさんのがんばって作成した思い入れのある作品を出展したいと思います。

（廣瀧　朋美）

クリスマス会

今年も花の家ではクリスマス会を開催しました。

ここ数年コロナ禍の影響で内部だけのクリスマス会でしたが、感染状況が少し落ち着いてきたので今年は久しぶりに外部の方をお呼びして会を盛り上げて頂きました。ホールには素敵な建物も用意されていました。

先ずは玉川大学吹奏楽部の総勢 13 名の学生によるハンドベルや楽器の演奏が始まり、生演奏を楽しみました。午後は素敵な手話ダンスを披露して頂きご利用者の皆さんも鈴などの楽器を手に持ち歌って踊ってと時間が経つのがあっという間でした。

そんな中、バイク音を轟かせながらバイクに乗ったサンタが登場してプレゼントを運んで来てくれました。ライドプラスさんと言うボランティア団体でイオンさんのプレゼントを代理で届けてくれました。これにはみんなびっくり!!こんな感じで一日を過ごして今年のクリスマス会は幕を閉じました。帰りには皆さんたくさんのプレゼントを持ち帰ることになり、にっこり笑顔な一日でした。

最後に今年も家族会からご寄付を頂きケーキとプリンを購入して、美味しく頂きました。毎年のお心遣いに感謝しています。ありがとうございました。 また来年も楽しいクリスマス会ができるといいですね。　（島田　久美）

計画相談支援かけはし

2023年度を振り返って

「あけまして、おめでとうございます。」

昨年度の幾つかの出来事の中から、相談支援従事者研修のことをお話ししようと思います。

実は事務的な手続きのミスから、昨年受講予定だった更新研修を受けることができず、初任者研修を再受講することになりました。法人内にかけはしが設置され相談員となって7年間実務をさせていただきましたが、これを機に改めて相談支援の基本を学び直そうと研修に臨みました。

相談員は基本的に一人でその任を担うことになる為、初任者研修とはいえ(だからこそ…)内容もかなり充実したもので、計 7 日間に渡って制度の理解やアセスメントから計画立案、モニタリング等の行程をみっちり教わります。私も一時サービス管理責任者研修のお手伝いをさせていただいた経験もあり、法定研修を準備する事務方の大変さは多少知っていますが、この相談支援研修の準備もさぞ大変だったと思います。

その上での感想ですが、かなりタイトなスケジュールと内容の為、受講者は業務の全体像を知るだけで精一杯で、相談業務の本質について触れることは難しいと思いました。あと、相談や面接場面で三種の神器のように使われる「傾聴」「受容」「共感的理解」も言葉だけが上滑りしている感は否めません。

かけはし(正確にはかけはしが立地する花の家)では、ご縁があって毎年日大大学院から公認心理師実習をお受けしており、よく先生や学生と話をします。その中で、心理では「共感」とは、その人が「見て感じているがまま」を感じ取り表現できることであって、相談者がその人の内面を想像することではないこと。また、来談者が話された言葉が、どういう心情から選び取られ表出された言葉であるか、(全てを語れる訳ではないので) 何を語らなかったか等を考えることが大切であること等を教わったりします。福祉領域の相談支援であっても共通する話であり、私自身も面接の際にはこれらのことを心に留めているところです。

今回の初任者研修で新たに相談員として従事する方々にエールを送ると共に、私も今回の研修での学びを通して、初心に帰って新しい年、新しい年度を迎えたいと思います。　　（畠山　史郎）

就労継続支援Ｂ型　クッカ広場

クッカ広場（ガーデン事業）

ショップでは季節ごとに色とりどりの草花や観葉植物等を販売しご利用者が水やり、花がらつみ等の作業を行い品質管理に努めています。
また、毎年ドライフラワーのミニブーケを作成、販売しクッカショップの人気商品となっています。

花の種類は「帝王貝細工」をメインに「スターチス」を冬の種まきから始め、その後、鉢上げ、畑への植え付け、５月より収穫、乾燥、作成までを行っています。昨年より「千日紅」「アメジストセージ」を加え、今年は「ストロベリートーチ」を加える予定です。

ドライフラワーは、桜美林中学高校学園祭の委託販売や薬師池公園での花菖蒲祭り、プール祭りと近隣のイベントの販売の際にも大変好評で、桜美林学園祭では２日間の販売の１日目で完売になり次回は倍の納品をしてほしいとの依頼をいただきました。

今後も地域の皆様に喜んでいただけるような草花・観葉植物、寄せ植え等を販売してまいります。　　(鈴木　浩子)

❀花の郷祭り開催❀

10 月 29 日（土）に 4 年ぶりに花の郷祭りが開催されました。
今回は屋外での祭り開催ということで心配されていた天候ですが、とても穏やかな天候に恵まれることが出来ました。
当日は素敵なバンド演奏でステージはとても盛り上がり、沢山の模擬店もあり、ゲームコーナーには地域の子供たちが沢山遊びにきてくれました。
ご利用者も皆さんお好きな物を召し上がったり、バンド演奏を楽しんだりと、とても充実した 1 日を過ごすことが出来ました。
（増田　あい）

❀花の郷永年通所10周年表彰式❀

今年度、花の郷では三名のご利用者様が通所10周年を迎えました。石橋舞様、甲斐ゆりか様、栗山翔太様、おめでとうございます。この先10年 20 年元気に活動やお仕事を頑張って行きましょう！
（梶野　萌々香）

アルモニーの１年を振り返って

「待ちに待った外出」レクリエーション

本年は新型コロナウイルスが５類になったこともあり、アルモニーでは、９月にミニアルモニー祭りを、１１月に日帰り旅行で伊豆フルーツパークと三島スカイウォークへ行きました。

その他、行事に合わせたレクリエーションも行い、創作やクッキング、体操、ダンスなど様々なことを企画したのですが、４年ぶりとなったお祭りと日帰り旅行は、特に楽しまれていました。

ミニアルモニー祭りでは、写真立て作りと４つのゲーム（お菓子釣り、ジュース輪投げ、射的、ワニワニパニック）を用意しました。皆さん、普段の作業以上に真剣な眼差しでゲームに参加され、また昼食は、屋台にして、６品（タコス、焼きもろこし、お好み焼き、カップサラダ、アメリカンドッグ、ソルビン）を提供し、おいしそうに頬張っている姿が印象的でした。

その後は、普段のレクリエーションで練習していたおどるポンポコリンダンスをグループに分け、ご利用者だけでなく、職員も一緒に踊り、笑顔が絶えないお祭りとなりました。

日帰り旅行は皆さん大変楽しみにしていましたが、あいにくの雨でした。三島スカイウォークは天気が良いと駿河湾と富士山が眺めます。吊り橋を渡るときは、雨がやんだのですが、絶景を眺めることは出来ませんでしたが、ご利用者は絶景を創造しながら？楽しんでいるようでした。昼食は伊豆フルーツパークでは豪華な和食とデザート食べ放題を堪能され、お土産もたくさん買うことができ、とても満足の日帰りレクでした。

出会い＆別れ

今年は新しい出会いと悲しい別れがありました。５月から新しく中川拓海様が入所され、もうすっかり馴染まれ過ごされています。１２月には約２０年間と永きに亘って通所していただいた足立信春様が退所されました。お別れ会では幼馴染の安藤孝文様から涙ながらの感動的なお別れの言葉で送り出しました。

（木村　一太）

児童支援部

ボワ・コンサール

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

ボワ・コンサールでは、クリスマスにちなんだ工作を数週にわたって行いました。光にかざすとキラキラと光るクリスマスツリーを完成させ、窓から差し込む太陽の光でキラキラと光らせて楽しみました。他の週にはトナカイやスノーマン、サンタクロースなどクリスマスらしい工作をおこない、子どもたちは作った作品を大切に持ち帰り、ご自宅で飾っていただきました。

クリスマス直前の週には、クッキング活動を行いました。内容はもちろんクリスマスケーキです。バームクーヘンにホイップとアポロチョコなどのお菓子をトッピングし、それぞれのオリジナルケーキを作り、クリスマスの雰囲気を楽しみながらおいしくいただきました。

共同募金の期間中は、子どもたちが募金箱に寄付をし、赤い羽根をもらっていました。ご協力してくださった皆様に心から感謝申し上げます。

（宇野　敬）

ボワ・フルール

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します！

ボワ・フルールでは寒さに負けず、晴れている日には元気に公園に出かけ、キャッチボールやバレーボール、遊具遊びを楽しみました。室内ではお気に入りの玩具で遊んだり、好きな音楽を聴くなどして過ごしています。数名で『神経衰弱』などのトランプゲームをすることもあり、職員が間に入りながらルールを守って遊んでいます。

その他にも12月にはクリスマス制作でサンタクロースを作りました。クリスマス前に制作したのでプレゼントに何をもらうのかなど楽しそうに話しながら作っていました。紙皿の顔に目やヒゲ、帽子などをつけています。タコ糸で体が揺れるようになっていて、完成すると揺らして楽しむ児童もいました。ご家庭からも「可愛い工作ですね」「飾りました！」など嬉しいご報告も頂きました。

最後になりますが、赤い羽根共同募金の期間には皆様より多くのご寄付を頂きました。ご協力して頂き、誠にありがとうございました。

（渡邉　千春）

ボワ・エール

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

9月にボワ・エールがある花の家の近くに「忠生スポーツ公園」が新しくオープンしました。大型の複合遊具や広い芝生広場などがあり、エールからも徒歩圏内にあるので放課後の時間にも散歩を兼ねて遊びに行く事ができます。芝生広場で追いかけっこや野球をして遊んだり、散策路を歩いてみたり、ハーネス付きのブランコ（インクルーシブ遊具）で遊んだりと、皆さんが思い思いに「あっちで遊ぼう！」「こっちきてよー！」と走り回りながら楽しく体を動かして遊ぶことができています。

学校の下校時間が早い時には少し遠出をして、車で公園に出掛けます。秋の時期には木々が紅葉していて、キレイな落ち葉の中を散策することができました。

赤い羽根共同募金の期間中には、たくさんの皆様にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

（上田　哲明）

居住支援　グループホーム

あかね入浴用電動リフト導入

１１月末、あかねの浴室に入浴用の電動リフトを導入しました。車輪のついた椅子型なので、脱衣所で椅子に座ったら、浴室への移動も楽に行えます。

浴槽へ入る際は、まず背もたれの裏側にある器具と、あらかじめ浴槽に取り付けてあるレールを連結させます。それから座面を浴槽の高さに合わせて上昇させ、レールの上をスライドしていきます。こうすることで、ご利用者は座ったまま浴槽へ入ることができます。

これまでは、職員に抱え上げられて入浴することに少し緊張気味だったご利用者も、リフトを導入してからはリラックスして入浴されています。

リフトを導入したことで職員の負担軽減につながるのはもちろん、ご利用者が入浴タイムをより安全安心に楽しむことができるようになりました。

(石野　幸枝)

ボワ・すみれ福祉会後援会

寄付金交付事業の報告・作業委託謝礼の贈呈が執り行われました

会員を募集しております

１２月１３日(水)花の家会議室にて、令和５年度の寄付金事業目録贈呈式と作業委託謝礼の贈呈式が、クッカと花の家のご利用者の方々と職員の方々にご出席いただき、執り行われました。

櫻井会長より田部井理事長へ、寄付金事業５０万と地域貢献事業１０万の目録を贈呈しました。すでに９月(前回広報記載)に寄付金をお渡ししておりましたので、田部井理事長からは、クッカの研修旅行に２０万と居住入浴リフト購入に３０万、また、地域貢献事業の活動費としてもそれぞれ役立てることができたという報告があり、感謝のお言葉をいただきました。

また、原副会長からは後援会資料のホチキス止めや折り込み作業、発送作業などをお願いしているご利用者の方々の代表者に作業委託費の謝礼をお渡しいたしました。

このような取組が出来ますのも後援会にご協力くださいます皆様のおかげです。会員の皆様に個々より感謝申し上げます。

「飛鳥クロス」ふきんの値上げのお知らせ

常日頃、「飛鳥クロス」ふきんをご購入頂きありがとうございます。お購入頂きました方々からも「使いやすい」とご好評いただいております。

誠に申し訳ございませんが、ふきんの仕入れ値が上がり、令和５年１２月１日より、２００円→２２０円とさせて頂くこととなりました。今後ともご購入いただけますようお願い申し上げます。(後援会　事務局)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も皆さんに楽しんでいただける広報づくりを目指して参りますので、今後もよろしくお願いいたします。

（松浦　綾子）

発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会　理事長　田部井 眞

BOWA SUMIRE

東京都町田市下小山田町 3267-2

TEL：042-797-6004(代) / FAX：042-797-4824

E-mail：hananoie@poem.ocn.ne.jp

https://bowasumire.jp/